

＜校務利用＞ ② 職員研修「生成AIについて知ろう」

生成AIの中学校における教育活動での活用について



本校の取り組み：生成AIパイロット校として

生成AIのパイロット校としての役割

- 01 成果と課題の検証
  - 教育への応用方法を探ります。
- 02 アクティブな参加
  - 市内・県外の学校へ取り組みの公開とプロジェクトの報告
- 03 校内研究との連携
  - 専門的知識を共有し、活用方法をブラッシュアップします。

生成AIのメリット・デメリット

教育活動における生成AIのメリットとデメリット

- メリット：時間の節約** 教師の負担を軽減し、多くのタスクを自動化することで時間を節約します。
- メリット：柔軟性と多様性の向上** 豊富なデータに基づいて生成されるため、個別のニーズに合わせた教材やアドバイスを提供することが可能です。
- デメリット：信頼性と正確性の確保の課題** 生成AIは誤った情報や偏った意見を提供する可能性があります。信頼性と正確性の確保に課題があります。生成AIの活用方法: 実践①

簡易プロンプトの作成



教材研究・ガイドライン作成・生徒指導研修・カウンセリング・AI先生等

初めに、校内研修で「生成AIについて」や「Chat GPTの使い方」、「導入までの流れ」「簡易プロンプトの作り方と考え方」「情報モラルとセキュリティ」について、教務主任より説明し、そのメリットとデメリットを周知しました。マニュアル・システム・シナリオはどこにもなかったので、パイロット校として学校独自で進めました。また、研修で使用したスライドは、AIコンテンツを使用し、その有用性の理解を深められるようにしました。